

## 【6/19 職員研修資料】

### ふれあい参観日の地区別懇談会について

人権・同和教育主任

【前半】 14:20～14:45 いろいろな人権課題について自由に意見交換を通して学び合う。

【後半】 14:45～15:05 夏休みの暮らしについて学校から説明を行ったあと、情報交換を行う。

#### 【前半】の人権学習について

1 テーマ・・・「災害時の人権について考えよう」

2 時間・・・14:20～14:45 (約 25 分)

3 すすめ方 (例)

★準備物・・・「すべての人の人権が守られる避難所にするために」のワークシート  
(各自に1枚)

○ 模造紙 (グループに1枚)

○ 資料【(資料1) (資料2) (資料3)】(教員用)

(1) 4～5人程度のグループをつくる (少人数なら1グループでも可)

(2) ねらいを説明する

すべての人の人権が尊重される社会をつくるためには、非常時においてこそ、自他を大切にする具体的な態度や行動をとることが必要となります。しかし、地震や津波、洪水など重大な災害発生時には、誰もが切迫したぎりぎりの状態にあり、強い不安やストレスが重なることから、人権に対する意識（特に乳幼児・妊婦、高齢者、外国人等 災害弱者に対する）が薄れてしまうことがあります。

そこで、この話し合い（ワークショップ）では、

**災害発生時における「避難所」生活で生じる問題や、特別な配慮を必要とする人の状況を考えることを通して、どのような場面でも互いの人権を尊重して行動することの大切さについて理解を深めてもらうことをねらっています。**

話し合いをする中で出てくるいろいろな意見に耳を傾け、自分の考えを話しながら、災害時において自分や家族、周りの人たちが無理ながまんをせず、安心して生活できるようにするために、あなたが普段から心掛けておくべきことについて、考えを深めていってもらえたらと思います。

(3) すすめ方を説明する

① 別紙ワークシート「すべての人の人権が守られる避難所にするために」の場面状況を聞いて確認する。(教職員が読むかグループ内で読み合わせしてもいい)・・・1～2分

② 「避難所」に避難した場合、自分はどういうことが困ってしまうか考えて、各自がワークシートに書く。・・・5～6分

③ 書いたことを基に、グループで意見交換をする。・・・3～4分

(④複数のグループができた場合は、グループごとで全体に発表して共有する)

⑤ ③④の内容の中から、「トイレ」に関する問題点に焦点を当てる。もし、出てこなかった場合、昨年の断水時に学校に「仮設トイレ」を設置したときの苦勞を紹介して焦点化してみる。

「避難所」におけるトイレの問題としてどのようなものがあるか、考えてワークシートに書く。・・・5～6分

⑥ 書いたことを基に、グループで意見交換をする。・・・3～4分

(⑦複数のグループができた場合は、グループごとで全体に発表して共有する)

- ⑧ 「～東日本大震災のある被災者の体験～」を聞く。(教職員が読む)
- ⑨ まとめ・振り返りとして、「災害時において、自分や家族、他の人が無理ながまんをせず、安心して生活できるようにするために、自分が普段から心掛けておくべきこと」について考え、ワークシートに書く。
- 時間があれば、全体でシェアするといいい。

※ 限られた時間なので、①から⑨までできなくて構いません。②や③、⑥や⑦の意見交換、自由討論が活性化できるようお願いします。